

「防災展！」 災害に対して考えよう！ おやまゆうえんハーヴェストウォークで広報展！

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 小林一空尉）は9月14日（日）、小山遊園地の跡地に建設された商業施設「おやまゆうえんハーヴェストウォーク」において、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受けて広報展を行った。当日は気温30度を超える天候の中、沢山の来場者が訪れて会場は熱気にあふれていた。防災展ということもあり、人命救助セットや6人用天幕等、普段見ることのない展示品に、たくさんの人だけかりができていた。

陸海空自衛隊の制服や迷彩服の体験試着からの写真撮影など、子供から大人まで幅広く楽しんでおり、大勢の人の興味をひいていた。来場者は自衛隊の装備品や制服類に興味津々の様子で「災害派遣いつもありがとうございます」「自衛隊の制服を試着出来て記念になりました」などの声が聞かれた。また、防災展に出展していたケーブルテレビの小山放送や地元FMラジオの『おーラジ』が各ブースを回り、災害に使用する機材等の説明の話を聞いて回るなど盛り上がりを見せていた。

小山地域事務所は、「今後も、防災について、意識を向上できる募集広報をはじめ防衛省自衛隊に対する一層の理解促進を図っていく」としている。



制服試着し展示車などで記念撮影



背嚢や6人用天幕で記念撮影



おーラジで展示品などの説明